

学校教育目標	ひびきあい かがやく 洋一の子 ～豊かな心を持ち、仲間とともに、すすんで未来を拓く子を育てます～ 好奇心をもちながら、主体的に考え、学び続ける子を育てます。(知) 自分と周りの人を大切にし、思いやりの心をもった子を育てます。(徳) 自分の健康に関心を持ち、心身ともにたくましく生きる子を育てます。(体) 地域に目を向け、周りの人と協力して行動する子を育てます。(公) 違いを認め、誰とでも分かり合おうとし、共に生きていく子を育てます。(開)				
	学校概要	創立 54 周年	学校長 千本 恵子	副校長 谷田部 康代	2 学期制
児童生徒数: 546 人		主な関係校: 洋光台第一中学校			

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	洋一中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<p>〈自分づくりに関する力〉</p> <p>自己肯定感 コミュニケーション まちを愛する態度・社会参画</p>	<p>洋光台第一中学校 洋光台第一小学校 洋光台第三小学校</p>	<p>①「洋光台のまち」を大切にすることが子ども②自尊感情を高めていく子ども③楽しく学習に取り組む子ども</p> <p>①学校運営協議会をブロック合同で行い、互いの課題や重点研究の情報を共有し、地域で関わり合いながら、地域に貢献する子どもを育成する。②ブロック合同で人権研修を行い、他人の気持ちを考えて行動し、自尊感情を高めていく子どもを育成する。③9年間を見通したカリキュラムの作成や小中合同授業研究会を行い、小中一貫教育カリキュラムの授業を通し、主体的に学習に取り組む子どもを育成する。</p>

中期取組目標	<p>学校教育目標の実現に向けて、すべての子どもが豊かに学び、ともに高めあう学校づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ○分かる喜び、できる喜びを感じることでできる授業 ～確かな学力の定着と主体的に問題解決をする力の育成～ ○一人ひとりの子どもが安全・安心に過ごすことができる教育環境 ～自尊感情、自己有用感を高めるための取組の推進～ ○家庭・地域と連携を図りながら、地域の教育力を活かす、開かれた学校 ○連携・協力して、一人ひとりの洋一の子を全教職員で指導支援する教職員
--------	---

重点取組分野	具体的取組
<p>知 学習指導</p> <p>担当 学力向上・評価委員会</p>	<p>①教科担当制を取り入れ、学年や専科など、多くの教師が関わる環境を整え、児童が安心して学習に向かえるようにする。②教科領域を横断的に捉え、児童が各教科領域特有の見方・考え方を働かせたり、自分のよさや経験を生かしたりして、主体的に問題解決していただける教育活動を行う。</p>
<p>徳 人権教育</p> <p>担当 人権・児童支援委員会</p>	<p>①YPアセスメントを活用し、だれもが安心して学級風土や授業づくりをすすめる。②人権尊重の意識を高めることが全ての教育活動の基盤であることを意識し、だれもが安心して参加できる授業づくりや体験的な授業の実施し、自分も相手も大切にできる子の育成を図る。</p>
<p>体 健康教育</p> <p>担当 健康・安全委員会</p>	<p>①体育的行事や1校1実践運動等、一年を通して楽しく体を動かすことができる活動を行い、自分からすすんで運動しようとする態度を育成する。②学校保健委員会の取組を通してけがを減らし、よりよい習慣を続けようとする態度を養う。③健康な体づくりには食との関わりがあることを知り、自分の食生活をふり返り、見直そうとする態度を養う。</p>
<p>公開 自分づくり教育</p> <p>担当 特活部(キャリア教育)</p>	<p>①学習や学校行事等で、他者や地域と関わる機会を設け、自分の役割を意識できるようにする。②自分自身の成長を実感したり、自分や他者のよさに気付いたりしながら、自分や学年のなりたいたい姿を意識し行動できるようにする。そのために、前後期のはじめや行事でめあてを立て、振り返りの時間を丁寧に指導する。</p>
<p>いじめへの対応</p> <p>担当 いじめ防止対策委員会</p>	<p>①「いじめ＝された子がいやだと思ふこと」といった理解の定着を図り、未然防止を重点化し、心情に寄り添った継続的な対応と解決に取り組む。②教育相談を確実に実施する体制の確立やいじめ防止対策委員会の運営の工夫等を行い、いじめの芽や兆候を見逃さない学校の対応力を高める。</p>
<p>人材育成・組織運営(働き方)</p> <p>担当 教務部</p>	<p>①有機的な同僚性 学年での情報共有にとどまらず、あらゆる校務分掌での関わりの中で、互いの職務の取組状況を把握・共有し、フォローアップし合う。②持続可能な働き方 業務の精選と効率化などによる、ゆとりあるワークライフバランスのもとで、創意工夫と創造性をもって業務に取り組み、モチベーション向上と持続可能な職業生涯の構築を図る。</p>
<p>特別支援教育</p> <p>担当 人権・児童支援委員会</p>	<p>①特別支援教育を基盤に、一人を大切にしたい、だれもが参加できる授業を推進する。②教科分担制等を生かし、複数の教職員で関わる体制を確立する。③個別支援級、特別支援教室、国際教室といった支援ニーズに応じた支援の充実を図り、安心して学び過ごせる校内体制や環境を確立する。</p>
<p>地域学校協働活動</p> <p>担当 教務部</p>	<p>①地域協力者による出前授業や地域行事等に積極的に児童と職員が参加し、地域との関わりを深める。②学校運営協議会で協議をし、地域やブロックの三校で協力し、地域の教育力の積極的活用や安全対策の充実を図る。③学校HP、すぐーなどを活用して教育活動について発信することで、家庭の理解を深め、地域との結びつきを高める。</p>
<p>担当</p>	
<p>担当</p>	